

## 「今年度の終わりに」

校長 伊奈 和彦

3月1日に先輩たち（40回生）が卒業していきました。卒業式の様子を見て、皆さんはどう感じましたか？ 退場前の「合唱」は、彼らが自分たちで企画し、自分たちの手でやり遂げました。私は日頃から、「高校生は主体的でなければならない！」と、事あるごとに口にしてきましたが、彼らは見事に有終の美を飾ってくれたと嬉しくてたまりませんでした。

さて、皆さんは4月からは最上学年である3年生と、学校行事の中心となる2年生です。3年生は1年後には卒業しているはずです。高校生活に悔いを残さぬよう、ベストを尽くしてください！

先日の卒業式で読んだ式辞の一部を載せます。今、在校生の立場で読んでみてください。今後1年間、あるいは2年間で何をすべきかを考えるヒントにしてもらえたら幸いです。

### 「第40回生 卒業証書授与式 式辞」（一部抜粋）

卒業おめでとうございます。今日、この日を迎え、皆さんの心には、どのような思いが去来しているのでしょうか。

残念なことに、入学前の中学二年生の時から高校二年生になるまでの貴重な時間を新型コロナウイルスに翻弄され、制限された窮屈な生活を強いられてしまいました。きっと複雑な思いがあったと察します。

おそらく、中学時代には、学校行事も部活動も、普段の授業さえも、満足に行えなかったのではないのでしょうか。だからこそ、本校では、学校行事を無くしたり縮小したくない！ との先生方の思いから、ほとんどの行事を実施してきました。一年生の夏休み前に行ったチャレンジスクールを覚えていますか？ マスクを外すことはできませんでしたが、全てのプログラムを何とか実施することができました。一緒に行った私は、あの行事で、皆さんの素直さや内に秘めたパワー、学年の力を感じることができました。あれ以降、皆さんは私たちの思いによく応えてくれて、学校行事や部活動、地域活動を盛り上げてくれました。この三年間のことを振り返ってみてください。

体育祭は公共の体育館での開催となったため、少々心配でしたが、それは杞憂に終わりました。皆さんが上級生として各ブロックをまとめ、後輩たちをしっかりとリードしてくれたので、一体感が生まれ、とても良い体育祭となりました。

裏面もあるよ！



また、文化祭は一般公開となったため、不安もあったと思います。しかし、特に今年の文化祭では皆さんの学年が中心となって大いに盛り上げ、来校した方たちを楽しませてくれました。参加した中学生の中には、文化祭を見て美和高校に入学したくなった！と言ってくれた生徒もいました。

皆さんは逆境をはねのけ、本校らしい「チャレン精神」を体現してくれました。さらに、それを後輩たちに示したことで、本校の新たな伝統を作ってくれたのです。

苦勞することなく簡単に手に入れたモノと、苦勞を重ねて精一杯努力して手に入れたモノとでは、その喜びには、大きな違いがあるでしょう。そして、さらに、一人だけの力ではなく、仲間と力を合わせて勝ち取ったモノならば、喜びは何倍にもなるはずです。皆さんは、高校生活全般を通して、そういうこと学んできたのです。

これからの時代は先を見通すことが難しくなっています。社会の変化は加速度を増しており、AIの進化が人間の職業を奪うのではないかとされています。そんな時代を皆さんは生きていくことになるのです。

しかし、どんな時代になろうとも、大切なのは、自分の力を信じて、挑戦していくことです。挑戦なくして成長はありません。失敗を恐れず、まず一步踏み出してください。どんなに小さな挑戦でも、それが積み重なっていくことで、皆さんの人生に大きな成果をもたらすはずです。

私はこの3年間、事あるごとに「潜在能力」の話をしてきました。例の「氷山の一角」という話です。最後にもう一度だけ説明させてください。今使っている能力は持てる力のたった二割から三割ほどです。まだ見ぬ能力を開花させてください。それぞれが進む道を切り開いていってください。どの道を選んでも、どのような立場に置かれても、挑戦することを忘れず、自分らしく輝き続けてください。マニュアル人間になることなく、自ら考え、行動できる人間になってください。未来の扉を開けるのは、皆さん自身です。この三年間で身につけた力を存分に発揮して、どうか自信を持って、前向きに、次のステージへと踏み出していってください。

これから先、悩むことも迷うこともあるでしょう。決して平たんな道ばかりではありません。壁にぶつかった時は、ちょっと立ち止まって、本校で過ごした三年間を思い出してみてください。きっと勇気が湧いてくるはずです。美和高校は皆さんの母校です。この先も皆さんを応援しています。皆さんの活躍を楽しみにしています。

令和七年三月一日

愛知県立美和高等学校長 伊 奈 和 彦



美和高生！  
期待してるよ～！！